

図書館 コーナー

～新着図書～

「遙かなるマッキンリー」
(中島祥和著 講談社)

43歳の誕生日に、厳冬期のマッキンリー単独初登頂を果たしたものの、いまだ帰らぬ偉大な冒険家・植村直己。本書には彼の青春時代からの様々なできごとや周囲の人々との関わりを通じ、彼の人となり著されている。

＜一般書＞

- ◇草のいのち(滝村駿著)◇虚航船団(筒井康隆著)◇野上弥生子日記(野上弥生子著)◇免田栄獄中記(免田栄著)◇獅子座(藤雪夫・藤桂子著)◇出会った緑(佐多稲子著)◇犬たちと殺人と(佐野洋著)◇長嶋茂雄のトランジットタイム(長嶋茂雄著)◇NHKを10倍楽しむ法(宮崎緑著)◇笑顔のファシズム 上・下(パートラム・グロス著)◇浮島丸釜山港へ向かわず(金賛汀著)◇反撃(ブライアン・ガーフィールド著)◇不眠に打ち勝つ法(ケイス・エリス著)ほか

＜児童書＞

- ◇きつねののぞきめがね(森山京作)◇風船のとぶ街かど(岡本真典作)◇ジュニア版ギネスブック'84(ノリス・マクワーター編)◇八月二十二日の太陽(下島哲朗作)◇たこのタコちゃん(かんざわとしこ作)ほか

＜母と子の絵本を楽しむ会＞

とき・7月27日(金)午後1時30分
ところ・中央図書館
とりあげる本・「ひよここと卵」ほか4編



●交通・秋北バス松木入口下車徒歩4分
◎目標・旧松木鉱区開発事務所



高館跡

大館の歴史散歩

④

釈迦内から松木集落へ向い、高館橋を渡ると突き当たる丘陵が高館跡である。館跡直下で花岡川が下内川に合流し、下内川は館跡丘陵を巻くように流れ、天然の水濜となっている。また、丘陵は標高

一一〇m、直下の下内川からの比高が五〇mほどあり、下内川と併せて天然の要塞となっている。丘陵は南北約三〇〇m、東西約一〇〇mほどで、丘陵上面の四圍を削って北郭・南郭の二つの郭を造り出しているほか、南郭の東側に腰郭、北・南郭をとり囲むように帯郭も造り出している。また北西の山稜との接続部には、現況では明瞭ではないが空堀様施設がみられる。郭は、北郭が東西約五〇m、南北約七五m、造り出しの比高二三m、南郭が南北約七〇m、東西約五〇m、造り出しの比高二三mほどの規模をもつ。丘陵の周囲は急峻で、登り口は旧松木鉱区開発事務所側にある。

松木館についての詳細は不明であるが、『郷村史略』に「古城高館と云 実季が臣工藤信久と云者居す 信久実季に随て常州に趣く 第六五郎信重を城に残し (中略) 信重後百姓と成」とあつて高館は秋田実季の家臣である工藤信久の居城で、信久は実季の常陸への国替に追従し、高館には弟の信重を残したが、後に信重は百姓に下つた、というものである。(大館市史編さん室)



松木館についての詳細は不明であるが、『郷村史略』に「古城高館と云 実季が臣工藤信久と云者居す 信久実季に随て常州に趣く 第六五郎信重を城に残し (中略) 信重後百姓と成」とあつて高館は秋田実季の家臣である工藤信久の居城で、信久は実季の常陸への国替に追従し、高館には弟の信重を残したが、後に信重は百姓に下つた、というものである。(大館市史編さん室)

市民の声

～スパイクはグラウンド内だけで～

長根山運動公園の近くに住む一市民です。運動施設の充実とともに、付近一帯の環境美化も進み、大変喜んでおります。ところで、野球場を使用する方方にお願ひですが、せっかく整備された公園や、道路をスパイクで歩くのを是非やめていただけないものでしょうか。特にアスファルトのいたみのひどさが目立っていますが……。

＜教委社会体育課から＞

長根山運動公園の整備も概ね完了し皆さんには快適な気分で大いにご利用いただきたいと思います。ところで、上記のような苦情が最近多く寄せられています。公共施設を大切に使用していただくとともに、スパイクの着用はグラウンド内だけにされるよう、利用者の方々にはお願いします。

われら サークル仲間

たつみ町園芸同好会

No.4

「町内の中に、盆栽や花作りを楽しんでる人たちがかなりいるように、町内みんなに呼びかけして同好会を作ろうじゃないか」という渡部操さん(現会長)の発案で、五十七年六月、たつみ町園芸同好会が



▲今年6月に開かれた展示会

誕生しました。現在、会員は二十五人。毎年春と秋に丹精こめて作ったサツキや松、カエデなどの盆栽を持ちより南ヶ丘会館で展示会を開き、地区の人たちの目を楽しませています。また、盆栽や庭の花木の手入れ・せんてい講習会、苗木の交換、そして町内児童公園の花壇づくり、会報の発行と、同好会は広い活動をしています。

「山から取ってきた小さな木を何年いや何十年もかけて、自分だけの形を作る。気の長い話ですが、これが楽しいですね」と会員は話します。年二回の展示会が終わった後は総会です。自分たちの持ちよった盆栽の一つ一つをみんなで見せての仕方、形の作り方などを批評し合います。「手塩にかけた盆栽をながめながら酒をくみ交わし、夜遅くまで盆栽の話に花を咲かせることが最高です」と会員の皆さんは口をそろえます。同好会に入会したい方は、会長の渡辺操さん(☎43-9756)へご連絡ください。